

学校法人 専修大学

10年度決算概要

学校法人専修大学の2010年度決算は、5月25日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成と、事業計画に基づき、次のとおり教育研究力の強化、学生支援の充実、社会地域貢献の推進、経営基盤の強化等に注力した。

専修大学は、人文科学分野の学問領域の充実を「人間科学部」を開設、併せて学科新設を含む文学部の再編成を実現させた。大学院も研究二つの高い「会計学」の専攻を新設し、商学研究科修士・博士後期課程は2専攻制となった。

キャリア教育は、文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に申請した取り組みが選

定され、11年度からの実施に向けた準備を進めた。研究は、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」や日本私立学校振興・共済事業団「学術研究振興資金」に選定されたプロジェクト等を展開させた。また、全庁統一資格を取得し、知的社会貢献の機会が大幅に広がった。さらに、国際交流を促進するべくカナダのマウントアリソン大学と交流協定を締結した。

石巻専修大学は、自宅通学支援パスの路線を拡張し、また、資格取得及び就職の支援体制を強化した。国際交流については、協定校の中国・温州大学から初の長期交換留学生を受け入れるなど、学生相互の交流を活性化させた。研究力強化と社会地域貢献は、共創研究センターが地域の課題解決に向けた8プロジェクトを稼働させ、市職員等と共に研究を進めた。大学開放センターも生産技術や経営に係る相談に対応し、地域活性化と産業振興に尽力した。

北海道短期大学においては、11年度以降の学生募集停止を機関決定した。在学生に対する教育、進学及び就職支援等に全力を注ぐとともに、理事会の下に設置したプロジェクト委員会が、修学条件の維持、教職員の処遇、施設の取り扱い等について検討、対応を進めている。

東日本大震災後、石巻専修大学は、石巻圏の要石として、その復興支援に尽力している。このたびの震災の爪痕はあまりにも深く、復興にはかなりの時間を要することも日本社会のあり方や価値観の転換も迫られている。

日本が再生し、再び大きな輝きを放つためにも、本学は、「社会知性の開発」をより一層推進することで、社会の復興に寄与し、来るべき社会を先導する人材の育成・輩出に努めていく。

(詳細な事業報告については、ホームページをご覧ください。)

1 資金収支計算書

収入の部では、当年度収入合計が予算比1.16%増の288億3626万円(前年度比では1.87%増)となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0.84%増の399億5880万円となっている(前年度比では8.04%の増)。	支出の部では、当年度支出合計が予算比1.95%減の297億1634万円(前年度比では14.76%の増)で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み98億4245万円となっている(前年度比では8.21%の減)。
① 学生生徒等納付金収入は、予算比0.02%増の209億3635万円(前年度比では0.69%の増)。最終在籍者数が専修大学で2万265	② 手数料収入は、予算比15.47%増の10億8910万円(前年度比では1.18%の減)。うち、入学検定料収入は、予算比15.47%増の10億8910万円(前年度比では1.18%の減)。入
③ 寄付金収入は、予算比20.61%減の8883万円(前年度比では58.97%の減)。このうち、特別寄付金収入は、予算比8.37%減の7330万円。一般寄付金収入(平成22年度入学生父母等による寄付金)は、予算比51.32%減の1553	④ 補助金収入は、予算比8.93%増の21億4999万円(前年度比では2.54%の増)。このうち、国庫補助金収入は、予算比9.13%増の21億2068万円(前年度比では2.95%の増)。内訳は、経常費補助金が20億2574万円(前年度比では6.77%の増)、教育研究装置補助金が6056万円、施設高度化
⑤ 資産運用収入は、予算比0.87%減の2億8278万円(前年度比では47.40%の減)。このうち、受取利息・配当金収入は、予算比0.55%減の1億8286万円(前年度比では60.74%の減)。	⑥ 借入金等収入は、神田校舎隣接地購入に伴う長期借入金で、予算比33億円。
⑦ 事業収入は、予算比2.38%減の4億6855万円(前年度比では12.20%の減)。差異は、各種課外講座の受講者減、セミナーハウス利用者減等による。	⑧ 雑収入は、予算比16.11%増の4億3833万円(前年度比では34.74%の減)。このうち、退職金財団交付金収入は、予算比11.06%増の3億1862万円、差異は、教職員の退職者増による。
⑨ 借入金等収入は、神田校舎隣接地購入に伴う長期借入金で、予算比33億円。	⑩ 前受金収入は、平成23年度入学者の入学手続時における納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる)で、40億6572万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で7億4561万円。資産収入調整勘定(収入の振替除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で47億7350万円(前年度比では12.20%の減)。

(2) 支出の部

① 人件費支出は、予算比0.14%増の141億2146万円(前年度比では1.90%の減)。差異は、教職員の退職金支出の増等による。	② 教育研究経費支出は、予算比4.20%減の53億8480万円(前年度比では17.89%の減)。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
・ 消耗品費支出：4億2730万円(1299万円の減)	・ ネットワーク情報学部におけるソフトウェア購入減等による
・ 図書資料費支出：2億634万円(2294万円の減)	・ 石巻専修大学において、震災の影響により、図書資料の年度内納品ができなかったこと等による減
・ 印刷製本費支出：2億1938万円(4419万円の減)	・ 各種講座委託費、各所管派遣業務委託費等の減
・ 謝礼費支出：9649万円(2112万円の減)	・ 各種講座講師謝礼費、学部授業科目外部講師謝礼費等の減
・ 儀式会合費支出：1791万円(1025万円の減)	・ 震災により学位記授与記念パーティー・体育会表彰式等が中止になったことに伴う減
・ 管理経費支出は、予算比1.51%減の17億8656万円(前年度比では7.76%の減)。	・ 設備関係支出は、予算比0.22%増の19億5992万円(前年度比では19.94%の増)。
・ 修繕費支出：4431万円(1163万円の増)	・ 修繕費支出は、予算比0.22%増の19億5992万円(前年度比では19.94%の増)。

2 消費収支計算書

消費収入の部では、帰属収入合計(学校法人の負債とならない収入)が予算比1.74%増の25億3681万円となった(前年度比では1.86%の減)。基本金組入額合計が、予算比27.00%減の30億9142万円(前年度比では39.87%の増)となり、消費収入の部合計は、予算比7.52%増の226億4538万円(前年度比では5.70%の減)となった。	① 放設備屋外用増設工事	② 学生食堂照明改修工事
③ 2号基本金 当年度組入額なし(将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入)	④ 放設備屋外用増設工事	⑤ 学生食堂照明改修工事
④ 放設備屋外用増設工事	⑥ 放設備屋外用増設工事	⑦ 学生食堂照明改修工事
⑤ 放設備屋外用増設工事	⑧ 放設備屋外用増設工事	⑨ 学生食堂照明改修工事
⑥ 放設備屋外用増設工事	⑩ 放設備屋外用増設工事	⑪ 学生食堂照明改修工事

(1) 消費収入の部

① 寄付金は、予算比24.96%増の3億2738万円(前年度比では26.31%の減)。	② 神田1号館地下トイレ・シャワー室改修工事	③ 神田3号館303教室照明改修工事	④ 学内LAN更改工事	⑤ 生田1号館熱源省エネルギー化に伴う中央監視設備工事	⑥ 生田1号館トイレ改修工事	⑦ 生田1号館トイレ改修工事	⑧ 生田1号館トイレ改修工事	⑨ 生田1号館トイレ改修工事	⑩ 生田1号館トイレ改修工事	⑪ 生田1号館トイレ改修工事
この中には、現物寄付金等が含まれている。	① 放設備屋外用増設工事	② 学生食堂照明改修工事	③ 学生食堂照明改修工事	④ 学生食堂照明改修工事	⑤ 学生食堂照明改修工事	⑥ 学生食堂照明改修工事	⑦ 学生食堂照明改修工事	⑧ 学生食堂照明改修工事	⑨ 学生食堂照明改修工事	⑩ 学生食堂照明改修工事
② 資産売却差額は、教育研究用機器備品に係る売却差額で、予算比43.93%減の2万円。	① 人件費は、予算比35.50%増の191億762万円(前年度比では74%の増)で、退職給与引当金繰入額54億9096万円を含んでいる。	② 退職給与引当金繰入額は、前年度より100%を基に、私立大学退職金財団に対する掛金と交付金の累計額との繰上計上する方法に変更している。	③ 教育研究経費は、予算比2.77%減の80億1877万円(前年度比では9.21%の減)で、減価償却額2億3396万円を含んでいる。	④ 管理経費は、予算比1.22%減の20億4286万円(前年度比では6.98%の減)で、減価償却額2億5629万円を含んでいる。						